

DES(デット・エクイティ・スワップ)の手法による新株式の発行について

2021年9月10日

当社に対する支援の一環として、債務圧縮・資本増強を行い、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により悪化した財務状態を改善するため、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構(以下、「鉄道・運輸機構」という)から借り入れている長期借入債務約1350億円のうち約230億円を新株式の発行に充てるDES(デット・エクイティ・スワップ)の手続きが完了しましたので、お知らせします。

このような支援を受けることに深く感謝するとともに、今後も経営改革に取り組んでまいります。

※ DES: 債務(Debt)を株式(Equity)と交換(Swap)すること

1 経緯

- 日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律が改正され、鉄道・運輸機構において「貸付金に係る債権の全部又は一部を出資すること」が可能となりました。(法律附則第5条第1項第3号)。
- これを受け、当社に対する支援の一環として、経営改革の推進を目的とした「新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた債務圧縮・資本増強」について関係各所との調整を進めてまいりました。
- このたび、鉄道・運輸機構から借り入れている長期借入債務約1350億円のうち約230億円を新株式の発行に充てるDES(デット・エクイティ・スワップ)を実施することとなりました。

2 新株式の発行について

- 本日9月10日付で、鉄道・運輸機構から当社に対して有する長期貸付金約230億円による現物出資を受け入れ、鉄道・運輸機構に対し同額の新株式の発行を行いました。
- このような支援を受けることに深く感謝するとともに、今後も経営改革に取り組んでまいります。

(参考) 鉄道・運輸機構について

平成15年10月設立。鉄道の建設や、鉄道事業者、海上運送事業者などによる運輸施設の整備を促進するための助成などの支援を行うことを通じて、大量輸送機関を基幹とする輸送体系の確立などを図ることを目的としています。